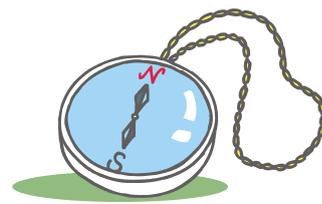


# 羅 針 盤



第 1 号 令和4年（2022年）4月8日（金）

## ◆ 『凡事徹底』の大切さ

本日、令和4年度（2022年度）の1学期始業式を無事に迎えることができました。新しい年を迎えてからのこの3か月間は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、大阪府下においても一万人を超える新規の感染者が毎日のように続き、変異型の「オミクロン株」により第6波となった今回の感染状況は、医療の緊急事態宣言をも招く事態となりました。コロナ禍の影響により様変わりした基本的な生活様式も少しずつ定着してきましたが、ワクチン接種によって感染状況の改善が少しでも見通しがたつようになればと願うばかりです。学校では子どもたちの「学びの継続」を着実に進めるため、教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいるところです。新型コロナウイルス感染症という大きな困難をじっと耐えしのぐ日々が続いてますが、いつか必ずこの事態が終息を迎え、解決に向かうことを信じて、「朝の来ない夜はない」というメッセージを子どもたちに送り続けたいと思います。このような時だから、なお一層に、日々努力することの大切さや、時間を無駄にしないこと、そして、支えてくれている周りの人たちへの感謝の気持ちを大切にしてお過ごししてほしいと思います。そして、そのためには日頃から、「凡事徹底」の大切さを感じながら過ごすことが大事なことです。この「凡事徹底」という言葉は、読んで字のごとく「平凡なことを徹底すること」、つまり、「当たり前のことを当たり前に行う」ということです。年度初めに、生徒の皆さんには、「挨拶ができる」、「人の話を素直に聴くことができる」、「ルールを守ることができる」という3つの事が『あ・ひ・る』が実行できるように心掛けてほしいと繰り返し伝えてきました。簡単なことのようにありながら、意外とできていない場面がたくさん見受けられるのも事実です。この3つのことは、長い期間を通して継続してこそ初めて「高み」に昇華していくものです。自分自身の習慣として自然と身に着くまで、日頃から意識しながら実行することが何よりも必要です。この3つの事がより大切なこともたくさんありますが、この3つの「挨拶」「話を聴く」「ルールを守る」といったような凡事すらできなければ、人として大きく成長していくのはもっと難しいことのはずです。「凡事徹底」の大切さを感じながら、有意義な学校生活を過ごしてほしいと心より願っています。

保護者の皆さま、今年度も引き続き、校長室だより「羅針盤」を通じて、私から子どもたちにメッセージを届けたいと考えています。定期的に本校のホームページに掲載して参りますので、保護者の皆さまにも、是非お子様とご一緒にお読みいただければ幸いです。

（校長 坂井 伸治）

住吉中学校に着任し、3年目を迎えました校長の坂井伸治（さかいしんじ）です。今年度も引き続き、住吉中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開して参りますので、よろしくお願いたします。夢をきり拓く子どもたちのために、道標となるようにという願いを込めた、校長室だより・羅針盤（らしんばん）を継続して発行していく予定です。また、学校ホームページでは、日々の教育活動の様子等を、公開していきますので、是非アクセスしていただき、ご覧ください。

